



# Azure NetApp Files のドキュメント

## Azure NetApp Files

NetApp  
November 06, 2025

# 目次

Azure NetApp Files のドキュメント	1
リリース ノート	2
新着情報	2
2025年10月6日	2
2025年1月13日	2
2024年6月12日	2
2024年4月22日	2
2021年4月11日	3
2021年3月8日	3
2020年8月3日	3
2020年4月5日	3
始めましょう	4
Azure NetApp Filesについて学ぶ	4
機能	4
NetApp Console	4
料金	4
サポートされている地域	5
助けを得る	5
関連リンク	5
開始ワークフロー	5
Microsoft Entra アプリケーションをセットアップする	5
ステップ1: アプリケーションを作成する	5
ステップ2: アプリをロールに割り当てる	8
ステップ3: コンソールに資格情報を追加する	10
NetApp ConsoleでAzure NetApp Filesシステムを作成する	10
Azure NetApp Files を使用する	12
ボリュームの作成とマウント	12
ボリュームの作成	12
ボリュームをマウントする	16
既存のボリュームを管理する	17
ボリュームのサイズとタグを編集する	17
ボリュームのサービスレベルを変更する	17
スナップショットコピーの管理	18
ボリュームを削除する	18
NetApp ConsoleからAzure NetApp Files を削除する	18
知識とサポート	20
サポートに登録する	20
サポート登録の概要	20
NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する	20

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける .....	22
ヘルプを受ける .....	24
クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける .....	24
セルフサポートオプションを使用する .....	24
NetAppサポートでケースを作成する .....	24
サポートケースを管理する .....	27
法律上の表示 .....	28
著作権 .....	28
商標 .....	28
特許 .....	28
プライバシー ポリシー .....	28
オープンソース .....	28

# Azure NetApp Files のドキュメント

# リリース ノート

## 新着情報

NetApp ConsoleでAzure NetApp Files の新機能を学習します。

**2025年10月6日**

**BlueXPはNetApp Consoleになりました**

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのストレージとデータ サービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、管理の簡素化を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetApp Consoleのリリースノート](#)"。

**2025年1月13日**

**BlueXPでネットワーク機能がサポートされるようになりました**

BlueXPからAzure NetApp Filesのボリュームを構成するときに、ネットワーク機能を指定できるようになりました。これは、ネイティブのAzure NetApp Filesで利用可能な機能と一致しています。

**2024年6月12日**

新しい許可が必要です

BlueXPからAzure NetApp Filesボリュームを管理するには、次の権限が必要になりました。

Microsoft.Network/virtualNetworks/サブネット/読み取り

仮想ネットワーク サブネットを読み取るには、この権限が必要です。

現在BlueXPからAzure NetApp Filesを管理している場合は、以前に作成した Microsoft Entra アプリケーションに関連付けられているカスタム ロールにこのアクセス許可を追加する必要があります。

"[Microsoft Entra アプリケーションを設定し、カスタム ロールの権限を表示する方法を説明します](#)"。

**2024年4月22日**

ボリュームテンプレートはサポートされなくなりました

テンプレートからボリュームを作成することはできなくなりました。このアクションは、利用できなくなったBlueXP修復サービスに関連付けられていました。

**2021年4月11日**

ボリュームテンプレートのサポート

新しいアプリケーション テンプレート サービスを使用すると、Azure NetApp Filesのボリューム テンプレートを設定できます。容量プール、サイズ、プロトコル、ボリュームが存在する VNet とサブネットなど、特定のボリューム パラメーターがテンプレートに既に定義されているため、テンプレートを使用すると作業が簡単になります。パラメーターがすでに事前定義されている場合は、次のボリューム パラメータにスキップできます。

**2021年3月8日**

サービスレベルを動的に変更

ボリュームのサービス レベルを動的に変更して、ワークロードのニーズを満たし、コストを最適化できるようになりました。ボリュームは、ボリュームに影響を与えることなく、他の容量プールに移動されます。

["ボリュームのサービスレベルを変更する方法を学ぶ"](#)。

**2020年8月3日**

**Azure NetApp Files** のセットアップと管理

Cloud Manager から直接Azure NetApp Files を設定および管理します。 Azure NetApp Filesシステムを作成したら、次のタスクを実行できます。

- NFS および SMB ボリュームを作成します。
- 容量プールとボリュームスナップショットを管理する

Cloud Manager を使用すると、ボリューム スナップショットを作成、削除、復元できます。新しい容量プールを作成し、そのサービス レベルを指定することもできます。

- ボリュームのサイズを変更し、タグを管理してボリュームを編集します。

Cloud Manager から直接Azure NetApp Files を作成および管理する機能は、以前のデータ移行機能に代わるものです。

**2020年4月5日**

**Azure NetApp Files**へのデータ移行

Cloud Manager から直接 NFS または SMB データをAzure NetApp Filesに移行できるようになりました。データ同期はBlueXP copy and syncによって実行されます。

# 始めましょう

## Azure NetApp Filesについて学ぶ

Azure NetApp Files を使用すると、企業はクラウド向けにリファクタリングする必要なく、パフォーマンスが重視され、待機時間が重視される、ビジネスに不可欠なコア アプリケーションを Azure に移行して実行できるようになります。

### 機能

- 複数のプロトコルをサポートすることで、Linux と Windows の両方のアプリケーションの「リフト アンド シフト」を Azure でシームレスに実行できるようになります。
- 複数のパフォーマンス層により、ワークロードのパフォーマンス要件に厳密に適合できます。
- SAP HANA、GDPR、HIPAA などの主要な認定により、最も要求の厳しいワークロードを Azure に移行できます。

### NetApp Consoleの追加機能

- NetApp Consoleから直接 NFS または SMB データを Azure NetApp Filesに移行します。データ移行はNetApp Copy and Syncによって実行されます。

["コピーと同期について詳しく見る"](#)

- NetApp Data Classification は、人工知能 (AI) を活用したテクノロジーを使用して、データのコンテキストを理解し、 Azure NetApp Filesアカウントに存在する機密データを識別するのに役立ちます。

["データ分類の詳細"](#)

## NetApp Console

Azure NetApp Files には、 NetApp Consoleからアクセスできます。

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとデータ サービスの集中管理を提供します。NetAppデータ サービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージ リソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetApp Consoleの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージ システムまたはNetAppデータ サービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソール エージェントを展開する必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータ サービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら["NetApp Console"](#)。

### 料金

["Azure NetApp Files の価格を見る"](#)

サブスクリプションと課金は、コンソールではなく、Azure NetApp Filesサービスによって管理されます。

## サポートされている地域

"サポートされている Azure リージョンを表示する"

## 助けを得る

Azure NetApp Filesに関連するテクニカル サポートの問題については、Azure ポータルを使用して Microsoft にサポート リクエストを記録してください。関連付けられている Microsoft サブスクリプションを選択し、ストレージ の下の \* Azure NetApp Files\* サービス名を選択します。Microsoft サポート リクエストを作成するために必要な残りの情報を入力します。

## 関連リンク

- "NetApp ConsoleのWeb サイト: Azure NetApp Files"
- "Azure NetApp Files のドキュメント"
- "コピーと同期のドキュメント"

## 開始ワークフロー

Microsoft Entra アプリケーションをセットアップし、システムを作成して、Azure NetApp Filesの使用を開始します。

1

### "Microsoft Entra アプリケーションをセットアップする"

Azure から、Microsoft Entra アプリケーションにアクセス許可を付与し、アプリケーション (クライアント) ID、ディレクトリ (テナント) ID、およびクライアント シークレットの値をコピーします。

2

### "Azure NetApp Filesシステムを作成する"

NetApp Consoleの [システム] ページで、システムの追加 > **Microsoft Azure** > \* Azure NetApp Files\* を選択し、Active Directory アプリケーションの詳細を入力します。

## Microsoft Entra アプリケーションをセットアップする

NetApp Consoleには、Azure NetApp Files を設定および管理するための権限が必要です。Microsoft Entra アプリケーションを作成して設定し、コンソールに必要な Azure 資格情報を取得することで、Azure アカウントに必要な権限を付与できます。

### ステップ1: アプリケーションを作成する

コンソールがロールベースのアクセス制御に使用できる Microsoft Entra アプリケーションとサービス プリンシパルを作成します。

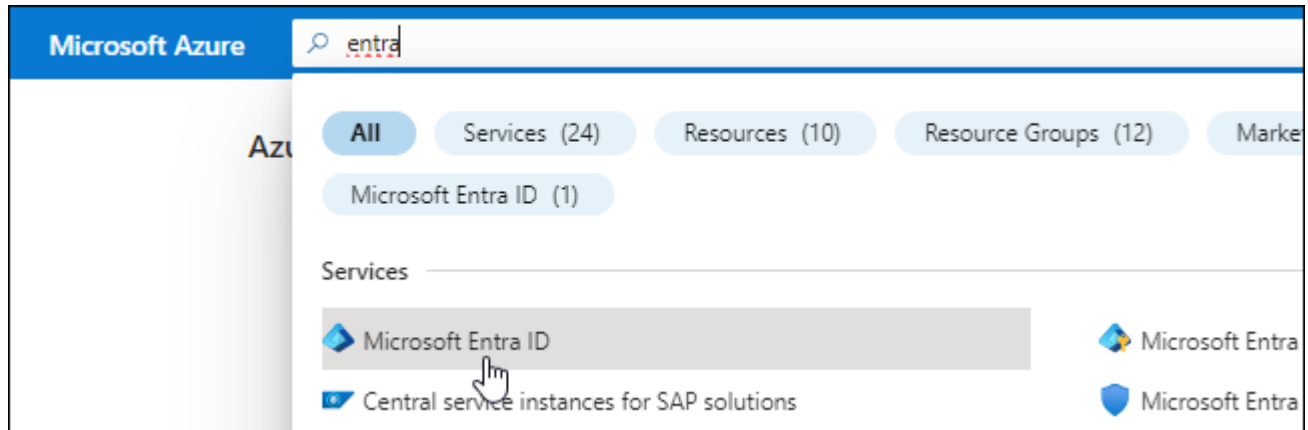
開始する前に



Active Directory アプリケーションを作成し、そのアプリケーションをロールに割り当てるには、Azure で適切なアクセス許可を持っている必要があります。詳細については、"[Microsoft Azure ドキュメント: 必要な権限](#)"。


#### 手順

1. Azure ポータルから、**Microsoft Entra ID** サービスを開きます。



2. メニューで\*アプリ登録\*を選択します。
3. アプリケーションを作成します。
  - a. \*新規登録\*を選択します。
  - b. アプリケーションの詳細を指定します。
    - 名前: アプリケーションの名前を入力します。
    - アカウントの種類: アカウントの種類を選択します (コンソールではどの種類でも使用できます)。
    - リダイレクト **URI**: 空白のままにすることができます。
  - c. \*登録\*を選択します。
4. アプリケーション (クライアント) ID と ディレクトリ (テナント) ID をコピーします。

Home > NetApp HCL | App registrations >

 **azure-netapp-files** ☆

Search (Ctrl+/) << Delete Endpoints

Overview Quickstart Integration assistant (preview) Manage

Display name : azure-netapp-files

Application (client) ID : eeeeeeee-0000-eeee-0000-eeeeeeeeeeee

Directory (tenant) ID : cccccc-1111-cccc-1111-cccccccccccc

Object ID : aaaaaaaa-1111-aaaa-1111-aaaaaaaaaaaa


コンソールでAzure NetApp Filesシステムを作成するときは、アプリケーションのアプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID を指定する必要があります。コンソールは ID を使用してプログラムでサインインします。

5. コンソールが Microsoft Entra ID で認証するために使用できるように、アプリケーションのクライアントシークレットを作成します。
  - a. \*証明書とシークレット > 新しいクライアント シークレット\*を選択します。
  - b. シークレットの説明と期間を指定します。
  - c. \*追加\*を選択します。
  - d. クライアント シークレットの値をコピーします。

**Client secrets**

A secret string that the application uses to prove its identity when requesting a token. Also can be referred to as application password.

+ New client secret

Description	Expires	Value	Copy to clipboard
Azure NetApp Files	7/30/2022	1aaaAaaA1aaaaa1aA1aaA...	

## 結果

AD アプリケーションがセットアップされ、アプリケーション (クライアント) ID、ディレクトリ (テナント) ID、およびクライアント シークレットの値がコピーされているはずです。Azure NetApp Filesシステムを追加するときに、コンソールにこの情報を入力する必要があります。

## ステップ2: アプリをロールに割り当てる

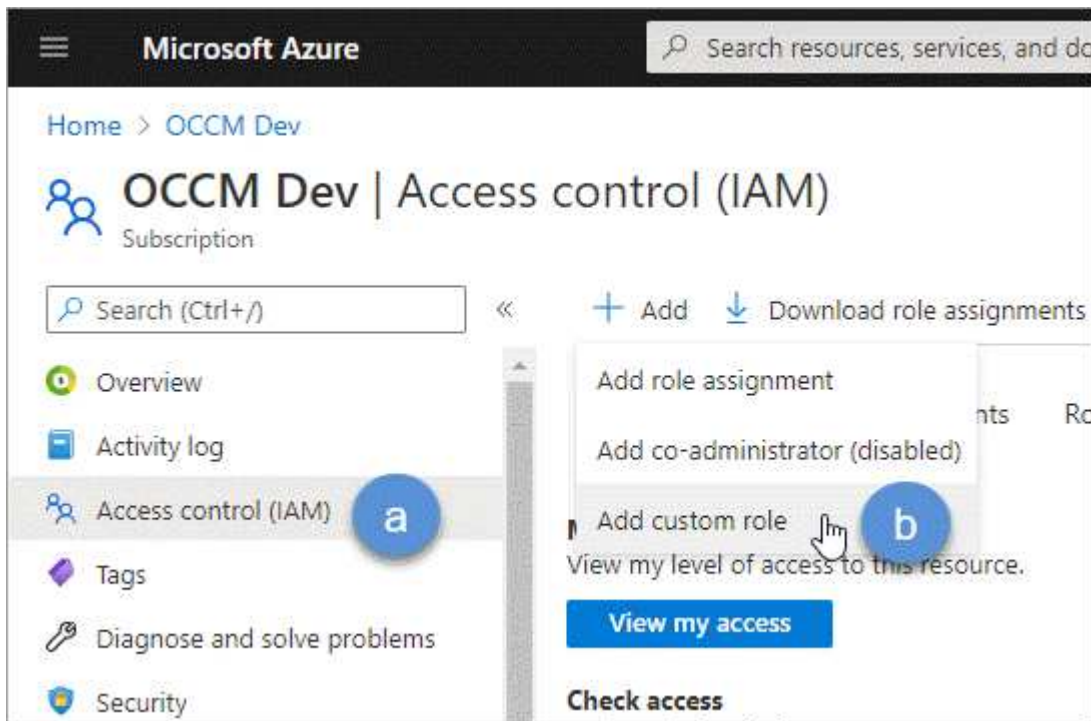
サービス プリンシパルを Azure サブスクリプションにバインドし、必要なアクセス許可を持つカスタム ロールを割り当てる必要があります。

手順

1. "Azureでカスタムロールを作成する"。

次の手順では、Azure ポータルからロールを作成する方法について説明します。

- a. サブスクリプションを開き、アクセス制御 (IAM) を選択します。
- b. 追加 > カスタム ロールの追加 を選択します。



- c. \*基本\*タブで、ロールの名前と説明を入力します。
- d. **JSON** を選択し、JSON 形式の右上に表示される 編集 を選択します。
- e. *actions* の下に次の権限を追加します。

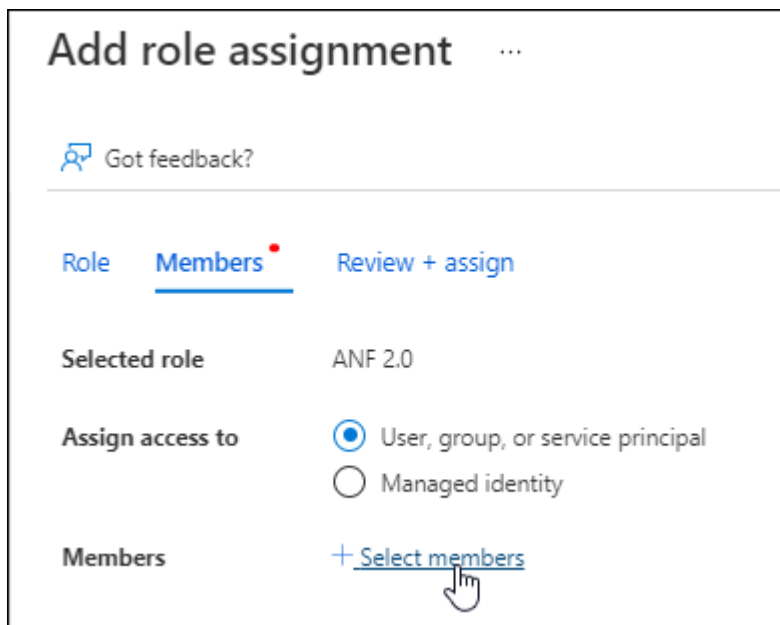
```
"actions": [
  "Microsoft.NetApp/*",
  "Microsoft.Resources/resources/read",
  "Microsoft.Resources/subscriptions/resourceGroups/read",

  "Microsoft.Resources/subscriptions/resourcegroups/resources/read",
  "Microsoft.Resources/subscriptions/resourceGroups/write",
  "Microsoft.Network/virtualNetworks/read",
  "Microsoft.Network/virtualNetworks/subnets/read",
  "Microsoft.Insights/Metrics/Read"
],
```

f. 保存 > 次へ を選択し、作成 を選択します。

2. 作成したロールにアプリケーションを割り当てます。

- a. Azure ポータルから [サブスクリプション] を開きます。
- b. サブスクリプションを選択します。
- c. アクセス制御 (IAM) > 追加 > ロール割り当ての追加 を選択します。
- d. \*ロール\*タブで、作成したカスタムロールを選択し、\*次へ\*をクリックします。
- e. \*メンバー\*タブで、次の手順を実行します。
  - \*ユーザー、グループ、またはサービス プリンシパル\*を選択したままにします。
  - \*メンバーを選択\*を選択します。

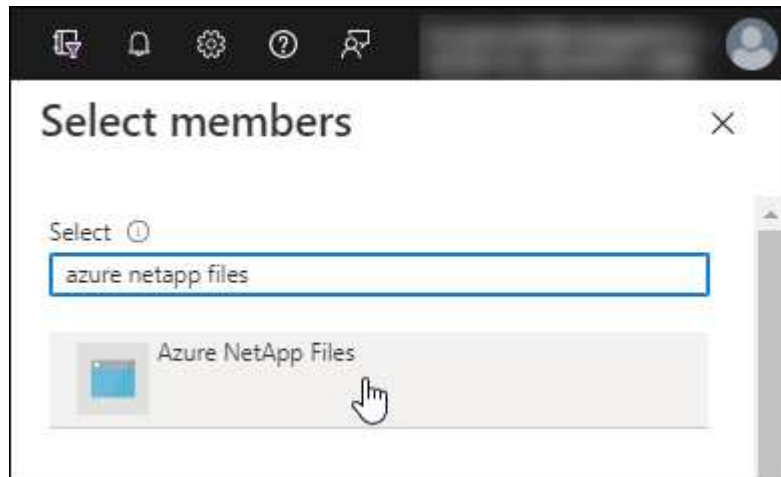


スクリーンショット。"]

タブを表示する Azure ポータルの

- アプリケーションの名前を検索します。

次に例を示します。



- アプリケーションを選択し、[選択] をクリックします。
- \*次へ\*を選択します。
  - a. \*レビュー + 割り当て\*を選択します。

これで、コンソールのサービス プリンシパルに、そのサブスクリプションに必要な Azure アクセス許可が付与されました。

### ステップ3: コンソールに資格情報を追加する

Azure NetApp Filesシステムを作成するときに、サービス プリンシパルに関連付けられている資格情報を選択するように求められます。システムを作成する前に、これらの資格情報をコンソールに追加する必要があります。

#### 手順

1. コンソールの左側のナビゲーションで、管理 > 資格情報 を選択します。
2. \*資格情報の追加\*を選択し、ウィザードの手順に従います。
  - a. 資格情報の場所: \*Microsoft Azure > NetApp Console\*を選択します。
  - b. 資格情報の定義: 必要な権限を付与する Microsoft Entra サービス プリンシパルに関する情報を入力します。
    - クライアントシークレット
    - アプリケーション（クライアント）ID
    - ディレクトリ（テナント）ID

この情報は、[ADアプリケーションを作成した](#)。

- c. 確認: 新しい資格情報の詳細を確認し、\*追加\*を選択します。

## NetApp ConsoleでAzure NetApp Filesシステムを作成する

Microsoft Entra アプリケーションを設定し、資格情報をNetApp Consoleに追加したら、Azure NetApp Filesシステムを作成して、必要なボリュームの作成を開始できるようにし

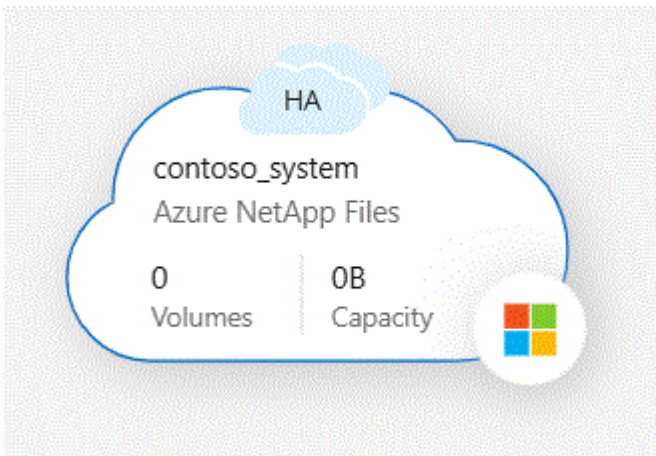
ます。

#### 手順

1. システム ページから、システムの追加 を選択します。
2. **Microsoft Azure** を選択します。
3. Azure NetApp Files の横にある **Discover** を選択します。
4. 詳細ページで、システム名を入力し、以前に設定した資格情報を選択します。
5. \*続行\*を選択します。

#### 結果

これで、Azure NetApp Filesシステムが作成されました。



#### 次の手順

"ボリュームの作成と管理を開始する"。

# Azure NetApp Files を使用する

## ボリュームの作成とマウント

システムをセットアップしたら、Azure NetApp Files アカウント、容量プール、ボリュームを作成できます。

### ボリュームの作成

新規または既存の Azure NetApp Files アカウントで NFS または SMB ボリュームを作成できます。

#### 開始する前に

- SMB を使用する場合は、DNS と Active Directory を設定する必要があります。
- SMB ボリュームの作成を計画している場合は、接続できる Windows Active Directory サーバーを用意する必要があります。ボリュームを作成するときにこの情報を入力します。

#### 手順

1. Azure NetApp Files システムを開きます。
2. \*新しいボリュームの追加\*を選択します。
3. 各ページに必要な情報を入力してください。
  - \* Azure NetApp Files アカウント\*: 既存の Azure NetApp Files アカウントを選択するか、新しいアカウントを作成します。新しいアカウントを作成するときは、リソース グループも選択する必要があります。既存のリソース グループを使用することも、新しいリソース グループを作成することもできます。

1 Account

2 Capacity Pool

3 Details & tags

4 Protocol

5 Snapshot Copy

## Azure NetApp Files Account

Choose an Azure NetApp Files account: ☐ Select existing account ☒ Create new account

Account Name

Azure Subscription

- Select subscription -

Location

- Select location -

Resource Group

☒ Create new ☐ Use existing

Resource Group Name

Create

Continue

- 。容量プール: 既存の容量プールを選択するか、新しい容量プールを作成します。

新しい容量プールを作成する場合は、サイズと "サービス レベル"。

容量プールの最小サイズは 1 TB です。



Account

2 Capacity Pool

3 Details & tags

4 Protocol

5 Snapshot Copy

## Capacity Pool

Choose a capacity pool: ☐ Select existing capacity pool ☒ Create new capacity pool

Capacity Pool Name

Size (TiB) ⓘ

>=1 TiB...

Service Level

Standard ▼

Continue

- 。詳細とタグ: ボリュームの名前とサイズ、ボリュームを配置する VNet とサブネットを入力し、必要に応じてボリュームのタグを指定します。標準\*または\*基本\*ネットワークを選択します。\***Standard** は仮想ネットワーク (VNet) 機能をサポートしますが、**Basic** では IP 制限が削減され、ボリュームに対する追加の VNet 機能はありません。詳細については、以下を参照してください。"[ネットワーク機能を構成する](#)"。

### Details & Tags

#### Details

Volume Name

data-volume

Size (GiB) ⓘ

100

VNet

mynetwork | myRG-westus

Subnet

default | 1.1.1.1/11

Networking

☐ Basic ☒ Standard

#### Tags (Optional)

Tag Key

Tag Value

+ Add More Tags

Continue

- プロトコル: NFS または SMB プロトコルを選択し、必要な情報を入力します。

NFS を選択した場合は、\*ボリューム パス\*を入力し、\*NFS バージョン\*を選択し、\*エクスポート ポリシー\*を設定する必要があります。

### Protocol

Select the volume's protocol: ☒ NFS Protocol ☐ SMB Protocol

Protocol

Volume Path ⓘ

Select NFS Version:

☒ NFSv3 ☐ NFSv4.1

Export Policy

Allowed Client & Access ⓘ

☐ Read & Write ☒ Read Only

+ Add Export Policy Rule (Up to 5)

Continue

SMB を選択した場合は、ボリューム パス を入力し、**DNS** プライマリ IP アドレス と Active Directory 構成の詳細を使用して SMB 接続を構成する必要があります。

15



Protocol

Select the volume's protocol: ☐ NFS Protocol ☒ SMB Protocol

↑ SMB Connectivity Setup

DNS Primary IP Address <input type="text" value="127.0.0.1"/>	User Name <input type="text" value="administrator"/>
Active Directory Domain to Join <input type="text" value="yourdomain.com up to 107 characters"/>	Password <input type="password"/>
SMB Server NetBIOS Name <input type="text"/>	Organizational Unit <input type="text" value="CN=Computers"/>

[Continue](#)

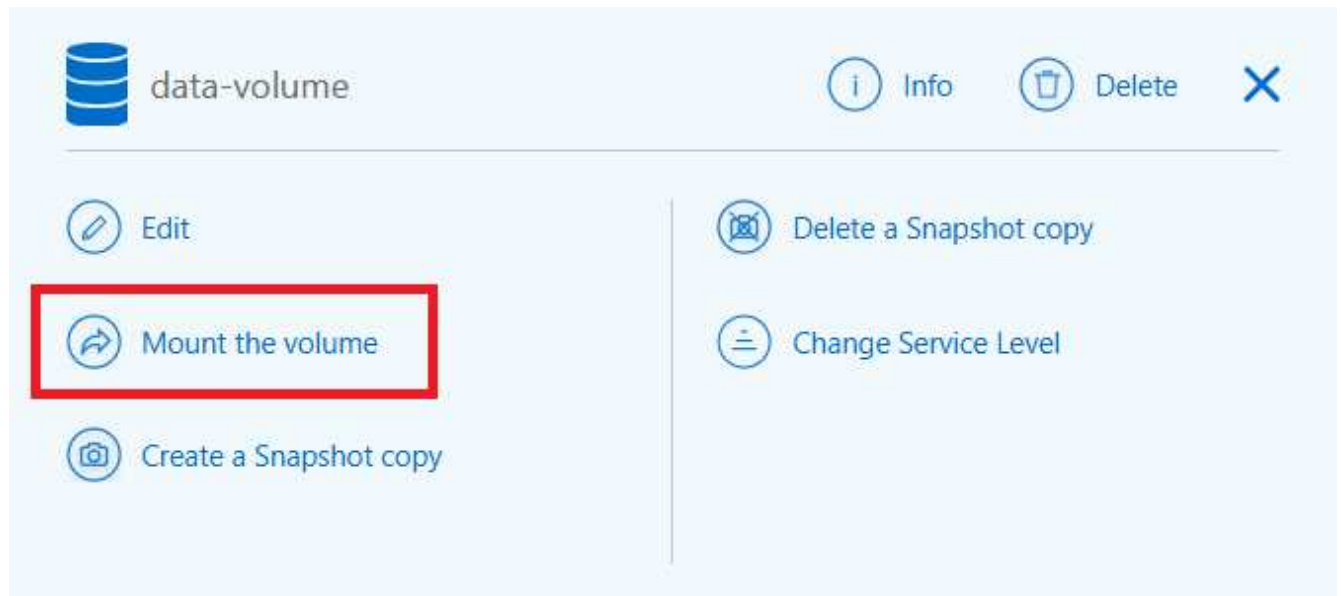
4. 既存のボリュームのスナップショットに基づいてこのボリュームを作成する場合は、「スナップショット名」ドロップダウン リストからスナップショットを選択します。
5. \*ボリュームの追加\*を選択します。
6. ボリュームを作成したら、[クラウドボリュームをマウントする](#)。

## ボリュームをマウントする

NetApp Console内からマウント手順にアクセスして、ボリュームをホストにマウントできます。

### 手順

1. NetApp Consoleで、Azure NetApp Filesシステムを開きます。
2. カーソルをボリュームの上に移動し、3つのドットを選択します `...` ボリューム ステータスの横にあります。
3. ボリュームのマウントを選択します。



4. 指示に従ってボリュームをマウントします。

## 既存のボリュームを管理する

ストレージのニーズが変化するにつれて、既存のボリュームを管理できます。ボリュームの編集、ボリュームのサービスレベルの変更、スナップショットコピーの管理、ボリュームの削除を行うことができます。

### ボリュームのサイズとタグを編集する

ボリュームを作成した後は、いつでもそのサイズとタグを変更できます。

#### 手順

1. システムを開きます。
2. ボリュームの上にマウスを移動し、[編集] を選択します。
3. 必要に応じてサイズとタグを変更します。
4. \*適用\*を選択します。

### ボリュームのサービスレベルを変更する

ボリュームを作成した後は、宛先の容量プールが既に存在する限り、いつでもサービスレベルを変更できます。

#### 手順

1. システムを開きます。
2. ボリュームの上にマウスを移動し、[サービスレベルの変更] を選択します。
3. 必要なサービスレベルを提供する容量プールを選択します。
4. \*変更\*を選択します。

## 結果

ボリュームは、ボリュームに影響を与えることなく、他の容量プールに移動されます。

## スナップショットコピーの管理

スナップショット コピーは、ボリュームの特定時点のコピーを提供します。スナップショット コピーを作成し、データを新しいボリュームに復元し、スナップショット コピーを削除します。

### 手順

1. システムを開きます。
2. ボリュームの上にマウスを移動し、スナップショット コピーを管理するために使用可能なオプションのいずれかを選択します。
  - スナップショットコピーを作成する
  - ボリュームをスナップショットに戻す
  - スナップショットコピーを削除する
3. 指示に従って選択したアクションを完了します。

## ボリュームを削除する

不要になったボリュームを削除します。

### 手順

1. システムを開きます。
2. ボリュームの上にマウスを移動し、[削除] を選択します。
3. ボリュームを削除することを確認します。

## NetApp ConsoleからAzure NetApp Files を削除する

NetApp ConsoleからAzure NetApp Filesシステムを削除できます。Azure NetApp Filesシステムを削除しても、Azure NetApp Filesアカウント、容量プール、ボリュームは削除されません。Azure NetApp Files はいつでもコンソールに再度追加できます。

### 手順

1. Azure NetApp Filesシステムを開きます。
2. ページの右上にある3つの点を選択します`...`次に、\* Azure NetApp Files を削除\*します。

Azure NetApp Files | contoso\_system

1 Volumes | 1 Region | 100.0 GiB Provisioned | 0.0 B Total Used

data-volume AVAILABLE

INFO		CAPACITY	
Service Level	Standard	100.0 GiB Provisioned	0 GiB Used Capacity
Location	West US		
Protocols	NFSv4.1		

Remove Azure NetApp Files

Add New Volume

1. ポップアップ ダイアログで [削除] を選択して、システムを削除することを確認します。



# 知識とサポート

## サポートに登録する

NetApp Consoleとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

## サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetApp Consoleアカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetApp Consoleによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

## NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetApp Consoleアカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

### NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

### 手順

1. 管理 > \*資格情報\*を選択します。
2. \*ユーザー資格情報\*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

#### 既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

#### 手順

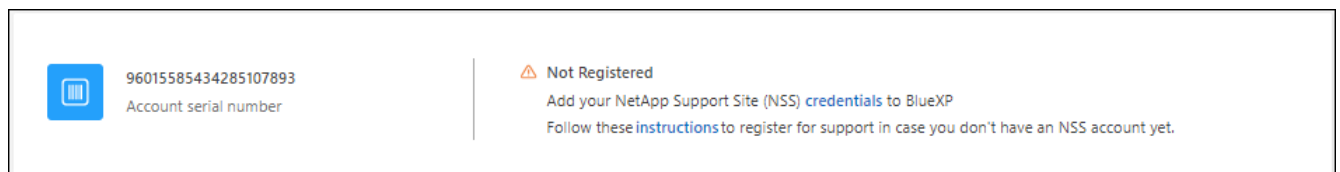
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザー レベル (通常は \* NetApp顧客/エンド ユーザー\*) を選択してください。
  - b. 上記で使ったコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

#### NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

#### 手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証



メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は \* NetApp顧客/エンド ユーザー\*) を選択してください。
- b. 上記で使ったアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

#### 終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの 1 回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

## Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

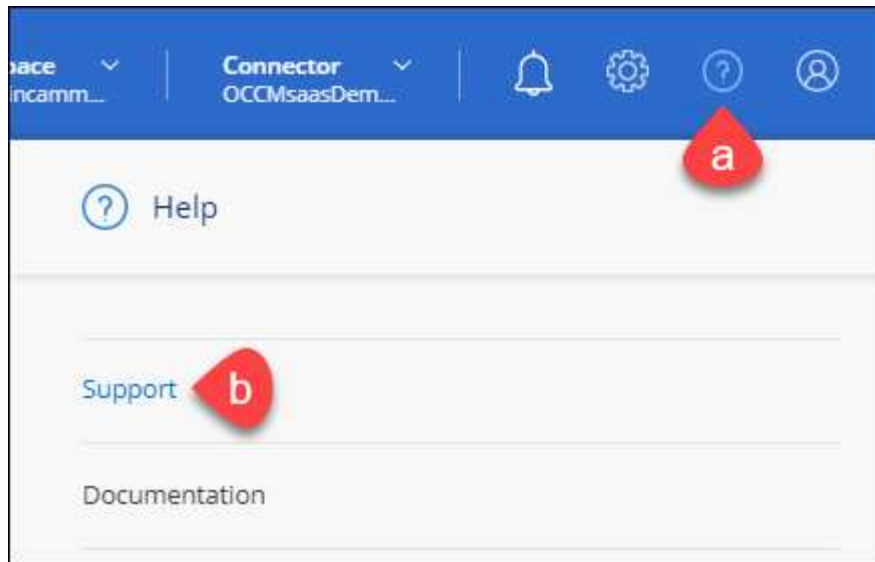
NSS 資格情報をNetApp Consoleアカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

#### 手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. \*NSS管理 > NSSアカウントの追加\*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。\*NSS管理\*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

# ヘルプを受ける

NetApp は、NetApp Consoleとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジ ベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフ サポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

## クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

## セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているNetApp Consoleのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

NetApp Consoleコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

## NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- \*ケースの作成\*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetApp Consoleで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. \*リソース\*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
  - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
  - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
    - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、\* NetApp Console\* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
    - システム: ストレージに該当する場合は、\* Cloud Volumes ONTAP\* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。


システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。

- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。

- 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
- 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

ntapitdemo 

NetApp Support Site Account


---

Service

Select ▼

Working Enviroment


Select ▼

Case Priority 

Low - General guidance ▼

Issue Description



Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.



Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional)

No files selected

 Upload 

## 終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとすると、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、NetApp Consoleアカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

## サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
  - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
  - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。



詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

### 手順

1. NetApp Console で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. \*ケース管理\*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
  - \*組織のケース\*の下で\*表示\*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
  - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
  - 列の内容をフィルタリングします。
  - 表に表示される列を変更するには、 次に、表示する列を選択します。
4. 既存のケースを管理するには、 利用可能なオプションのいずれかを選択します。
  - ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
  - ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、\*ファイルのアップロード\*を選択して最大 5 つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

# 法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

## 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

## 商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

## 特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

## プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

## オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用するサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetApp Consoleに関するお知らせ"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。